

サポート体制

研修生の皆さんが安心して研修に取り組めるよう、
以下のサポート体制を整えています。

受講料 無料

宿 舎 遠隔地からの研修生は宿舎を利用できます。(有料・審査有)
※空室がない場合は住宅費補助金を給付します。

奨励制度 希望者には奨学金(伝統芸能伝承奨励費)の貸与制度があります。
※研修修了後、プロとして一定期間従事した場合に返還が免除されます。

研修修了後 各分野の実演家団体に所属し、各団体幹部の指導の下、プロとして舞台出演することになります。

応募方法

下記①～⑥を募集期間内に持参または郵送にてご提出ください。

- ①受験願書(所定用紙、本人自署のこと)
- ②履歴書(所定用紙、本人自署の上、3か月以内に撮影した写真を貼付のこと)
- ③同意書(所定用紙、保証人自署のこと)
- ④住民票(発行日から3か月以内のもの)
- ⑤健康診断書(発行日から3か月以内のもの。用紙は医療機関・保健所等で使用しているもので可)
- ⑥写真2枚(タテ4cm×ヨコ3cm。3か月以内に撮影したもので履歴書貼付と同じもの)

※各研修の募集要項及び所定用紙①②③は国立劇場養成所ホームページ
(<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>) からダウンロードできます。
募集要項には提出先や提出にあたっての諸注意などを記載しています。
必ずご確認のうえご応募ください。

お問合せ

歌舞伎俳優研修

歌舞伎音楽(竹本・鳴物・長唄)研修

大衆芸能(太神楽)研修

国立劇場 調査養成部養成課

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内 カルチャー棟3階
TEL 03(3265)7105[直通]
✉ kokuritsu-boshu@ntj.jac.go.jp

文楽研修

国立文楽劇場 企画制作課養成係

〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10
TEL 06(6212)5529[直通]
✉ bunraku2021@ntj.jac.go.jp

応募の詳細はホームページをご覧ください。



独立行政法人日本芸術文化振興会

国立劇場伝統芸能伝承者養成所



令和7年度開講
国立劇場
伝統芸能伝承者
養成所

研修生募集



国立劇場養成所では伝統芸能の伝承者を養成するため、
歌舞伎俳優・音楽、太神楽、文楽の研修生を募集します。

歌舞伎
俳優

歌舞伎
音楽

太神楽

文楽



独立行政法人日本芸術文化振興会

国立劇場伝統芸能伝承者養成所

伝統芸能は無形の技として、人から人へと伝承されるものです。
国立劇場伝統芸能伝承者養成所では、伝統芸能を未来へつなぐ若者を募集しています。

歌舞伎俳優研修

歌舞伎は、音楽や舞踊と一体となった演劇です。
長い歴史を重ねながら、それぞれの時代の風を取り入れて、観客を楽しませるための様々な工夫を生み出してきました。
研修では、歌舞伎の舞台にふさわしい発声、演技、所作、衣裳の着付け、化粧法などを習得します。

日 程	募集期間	選考日	選考会場
	令和6年10月1日(火)～令和7年1月31日(金)まで	令和7年2月～3月	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)

応募資格	中学校卒業(卒業見込みを含む)以上の男子で、原則として年齢23歳以下の方。経験不問。
選考方法	作文、簡単な実技、面接
研修期間	令和7年4月から令和9年3月までの2年間
研修時間	原則として、月曜日から金曜日までの平日午前10時から午後6時まで
研修場所	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町)
適性審査	研修開始後8か月以内に適性審査を実施し、研修継続の可否を判断します。



協力:一般社団法人伝統歌舞伎保存会、松竹株式会社

歌舞伎音楽研修

竹本

人形浄瑠璃から歌舞伎化された作品で義太夫節を演奏します。語りを担当する太夫と三味線弾きから成ります。研修では、義太夫節の節回しや三味線の演奏法、竹本の演出に関わる約束事などを習得します。



協力:竹本協会、一般社団法人義太夫協会、
一般社団法人伝統歌舞伎保存会、松竹株式会社

鳴物

太鼓や鼓のほか様々な楽器で、歌舞伎の儀式的音楽や、天候、自然、情景などを御簾内で演奏します。また、所作事(舞踊劇)では舞台上に出て演奏します。研修では舞台上に出て演奏します。研修では、各楽器の演奏法を学び、必要な技芸を習得します。



協力:歌舞伎囃子協会、一般社団法人伝統歌舞伎保存会、
松竹株式会社

長唄

御簾内で、唄と三味線によって心理描写、情景などを表現します。また、所作事(舞踊劇)では舞台上に出て演奏します。研修では、長唄や三味線、黒御簾音楽の演奏法を学び、必要な技芸を習得します。



協力:歌舞伎長唄協議会、
一般社団法人伝統歌舞伎保存会、松竹株式会社

日 程	募集期間	選考日	選考会場
	令和6年10月1日(火)～令和7年1月31日(金)まで	令和7年2月～3月	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)

応募資格	中学校卒業(卒業見込みを含む)以上の男子で、原則として年齢23歳以下の方。経験不問。
選考方法	作文、簡単な実技、面接
研修期間	(竹本・鳴物) 令和7年4月から令和9年3月までの2年間 (長唄) 令和7年4月から令和10年3月までの3年間
研修時間	原則として、月曜日から金曜日までの平日午前10時から午後6時まで
研修場所	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町)
適性審査	研修開始後8か月以内に適性審査を実施し、研修継続の可否を判断します。

大衆芸能(太神楽)研修

江戸初期より神事芸能として発達してきた太神楽は、曲芸などを加えながら広く大衆に愛されてきました。
研修では、太神楽曲芸の基本である“投げもの”と“立てもの”を中心に、寄席での活動に必要な技芸を習得します。

日 程	募集期間	選考日	選考会場
	令和6年10月1日(火)～令和7年1月31日(金)まで	令和7年2月～3月	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)

応募資格	中学校卒業(卒業見込みを含む)以上で、原則として年齢23歳以下の方。経験不問。
選考方法	作文、簡単な実技、面接
研修期間	令和7年4月から令和10年3月までの3年間
研修時間	原則として、月曜日から金曜日までの平日午前10時から午後6時まで
研修場所	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町)
適性審査	研修開始後8か月以内に適性審査を実施し、研修継続の可否を判断します。



協力:太神楽曲芸協会、一般社団法人日本演芸家連合、一般社団法人落語協会、公益社団法人落語芸術協会

文楽研修

人形浄瑠璃文楽は、太夫の語りと三味線弾き、人形遣いの三業が心をあわせて一つの舞台を作り上げる総合芸術です。
研修では、文楽への理解を深めるため、まず研修生全員が三業の基本を学びます。
適性審査の後、それぞれの専門分野にわかれて、より実践に近い技芸を習得します。

日 程	募集期間	選考日	選考会場
一次募集	令和6年10月1日(火)～令和7年1月17日(金)まで	令和7年1月下旬	国立文楽劇場(大阪府)
二次募集	令和7年2月3日(月)～令和7年3月17日(月)まで	令和7年3月下旬	

応募資格	中学校卒業(卒業見込みを含む)以上の男子で、原則として年齢23歳以下の方。経験不問。
選考方法	作文、簡単な実技、面接
研修期間	令和7年4月から令和9年3月までの2年間
研修時間	原則として、月曜日から金曜日までの平日午前10時から午後6時まで ※土日祝日や午後6時以降に研修が及ぶことも有り
研修場所	国立文楽劇場(大阪府大阪市中央区日本橋) ただし、文楽東京公演時には東京で研修を行います。
適性審査	研修開始後8か月以内に適性審査を実施し、研修継続の可否を判断します。



協力:公益財団法人文楽協会